

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農政課		■担当係	農政企画係
■評価事業名称	いわて農林水産振興協議会負担金			
■評価事業コード	050100 - 012	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	02 農産品の高付加価値化と新たな流通の開拓		
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	農林水産業の最大の顧客である消費者の視点を重視し、生産者の自主性と創意工夫を凝らした取組を促進することを目的に事業展開するための負担金。協議会が主催するイベント等に参加し、地元特産物を県内外の消費者にPRし有利販売の促進を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	いわて農林水産振興協議会負担金	いわて農林水産振興協議会		10月6日(土)・7日(日) いわて食と緑のフェスタ 開催会場:盛岡駅前西ロイイベント広場 出店者:いわて共生会あけぼの、NPOくちない

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	28	28		28	
人件費	82			79	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	110	28		107	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	農林水産業改革フォーラム・研修会開催回数	3	1			いわて農林水産振興協議会の全体事業が縮小傾向にあり、1回のみ開催となった。
02	イベントへの参加回数	1	1			「いわて食と緑のフェスタ2010」に参加。毎年イベントが変わっており、22年度は1回しか開催されなかった。

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

03	イベントへの出店者数		3			岩手農林水産振興協議会 が主催するイベントへの出 店者数
04	活動回数①+②当たりコスト	36,666円	14千円			

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

構成団体の一つとして、市内事業者がイベントへ参加しており、一定のPR効果は見込まれる。

### 問題点・課題等

イベントについては、県内で同様のものが開催されるようになってきており、本協議会として実施する意義が薄れてきている。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■ 今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

### 補足説明

市町村負担金により開催していたイベントは、同様のイベントが多数開催されている状況に鑑み、平成25年度以降、開催しないこととなった。